

令和5年12月分 四日市港 貿易概況（速報）の要旨

令和5年12月分について、輸出額は「原動機」、「科学光学機器」などが減少したものの、「石油製品」、「自動車」などが増加したことから、対前年同月比 45.5%の増加となった。また、輸入額は「石炭」、「非鉄金属鉱」などが減少したものの、「原油及び粗油」、「液化石油ガス」などが増加したことから、同 5.8%の増加となった。
その結果、差引額は1,244億円（同 14.9%の減少）の輸入超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
四日市港	1,109億円	+45.5%	2,353億円	+5.8%	▲1,244億円	▲14.9%
	5ヵ月連続の増加		2ヵ月連続の増加			

		概況品名	金額	伸率			概況品名	金額	伸率
輸出	増加品目	(1) 石油製品	189億円	60倍	輸入	増加品目	(1) 原油及び粗油	1,435億円	+8.0%
		(2) 自動車	130億円	+50.3%			(2) 液化石油ガス	96億円	+129.8%
		(3) 有機化合物	74億円	+27.7%			(3) 石油製品	105億円	+52.5%
	減少品目	(1) 原動機	16億円	▲29.1%		減少品目	(1) 石炭	29億円	▲74.4%
		(2) 科学光学機器	5億円	▲50.6%			(2) 非鉄金属鉱	2億円	▲93.2%
		(3) その他の化学製品	30億円	▲13.4%			(3) その他の採油用種子	9億円	▲48.0%
地域別動向	アジア、西欧が増加、中南米は減少				地域別動向	中東欧・ロシア等、中東が増加、大洋州は減少			

（参考）ドルレートは、146.92円（前年同月比6.5%、9.02円の円安）であった。

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。

注）本資料中の「伸率」及び「増減表記」は、前年同期との比較による。